

体育科における学びの質の向上を目指した学習評価の在り方

-授業で活用できる「評価イメージマップ」の作成-

松田 元宏 (鳴門教育大学)

1. 目的

置籍校で行った「体育科における学習評価に関するアンケート」と、中央教育審議会より示された「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」において共通の課題として、「教師によって評価の視点が異なる」という点が挙げられる。そこで、教師間の評価観を共有しておくことが、教師の指導改善や子どもの学びの充実につながるのではないかと考えた。そのために、評価の視点を設定し、子どもを見取る手立てとなるツールを作成、提案することを本研究の目的とした。

2. 方法

実際の授業実践を通して評価の視点の明確化を図ろうと、2022年4月より、置籍校で課題研究の実践を行った。各学年、1学級を評価ツールを活用しながら授業を担当し、残りの学級も担任に「評価ツール」をもとに、同じ評価の視点で授業を行ってもらった。単元中や単元後に話し合いをもち、使用した「評価ツール」のブラッシュアップを図っていった。

3. 結果と考察

1) 「評価表」を用いた実践

1学期に使用した「評価表」は、ルーブリックの考え方を基に作成したが、各項目を到達レベルで評価するのではなく、授業対する参加の仕方(ために・挑戦して・こだわって)の視点を示し、子どもの学びの状況を設定し、さらに、支援の例も示した。(表1)

表1 1年生マット・跳び箱を使った運動遊びの評価表

		ために	挑戦して	こだわって
することの 種類	評価の視点	コースのほしーこまで行くにおいて、どの時方が分かる。	コースのほしーこまで行くや、いらない回り方を発見し、力を見つけている。	コースによってこだわった、ほしーこまでの行き方を見つけている。
	支援	マットは回る、跳び箱は手をつくことを伝える。	コースの写真を提示するなどで、整理したり共有したりすることができるようになる。	コースによってこだわった、ほしーこまで行かないのが危険なので、ほしーこまで行かないよう促す。
評価に対する 状況の風まわり	評価の視点	コースのほしーこまで行くにおいて、どのコースでも通ぼうとしている。	コースのほしーこまで行くにおいて、いらない回り方から、発見し、力をつけている。	コースによってこだわった、行き方を見つけている。
	支援	まわらなくてもコースがわかるように、全体的に促す。	ほしーこをいらない回り方から発見し、力をつけている。	それぞれのまわしと、ほしーこに合った情報提供を伝える。

「評価表があることで授業のイメージがもちやすい」という意見をいただいた一方で、「評価の視点で示された内容が出来ていたらAなのか、右側へ成長させたらA評価なのか」と言う質問を受けた。「見取りと支援のための表」として活用してもらいたいがルーブリック型の「評価表」では、どうしても評定化へと意識が向いてしまうことが分かった。

2) 「評価イメージマップ」を用いた実践

2学期においては、マインドマップ作成ツールのサービスを提供している“AYOA”の「ラジアルマップ」を用いて「評価イメージマップ」を作成した。(図1) 円の中心には、単元を貫く「問い」を記し、中心から2つ目の円には、「評価表」を参考に、参加の仕方として「参加」、「挑戦」、「こだわり」と書き込むようにした。中心から3つ目の円には、それぞれの参加の仕方において大切にしたい観点を書き込んだ。中心から4つ目の円には、3つ目の円で大切にしたい観点を「見取る」ための視点を、一番外側の円には、支援の例をいくつか想定して示した。(紙面の都合上、4つ目と一番外側の円の内容は省略)

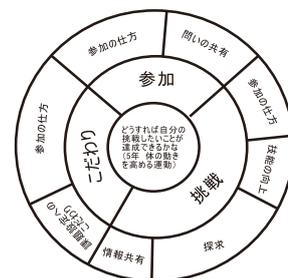


図1 5年生体の動きを高める運動の評価イメージマップ

「評価イメージマップ」を活用して実践した先生からは、「ポイントや発問のイメージがもてた」、「子どもと教員との関わり方、子ども同士の関わり方について事前に想定することができた」という意見をいただいた。

4. 結論

「評価イメージマップ」を活用することで、子どもの見取りから評定化という意識は生まれにくく、子どもに関わる手立てとして有効に働いたのではないだろうか。それに伴い、教師の指導改善や子どもの学びの充実へつながる手応えを実感することができた。しかし、「評価イメージマップ」を活用した実践がまだまだ少ない。これまでの実践から見てきたことを生かしながら、各学年・単元ごとに作成し、次年度以降、体育学習で活用できるように整備して、先生方の授業改善や子どもの学びの質の向上に寄与していきたい。

<参考文献>

- 1) 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会、「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」, pp. 4-5, 2019.
- 2) AYO, <https://app.ayoa.com/>

